



Abstracts

第1回 日本保育園保健学会 抄録集

会 場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール (東京 霞が関ビル)
会 頭 平井信義 (大妻女子大学名誉教授)
会 期 平成7年11月11・12日

*The 1st. annual meeting of
The Japan Society of Child Health
in Nurseries.*

ごあいさつ

第1回日本保育園保健学会 会頭 平井信義

保育園医の会員の皆様のご努力によって、医者だけの会から脱皮して、保育園に関係している職員の皆様とともに一堂に会して討論し合う学会がここに発足したことは、子どもたちの幸せを一段とふやすものである。保育園での保健は、医師にのみまかされるものではない。栄養士や調理師も重要な役割を演じているが、一日を子どもたちとともに生活している保母、および園長や主任にも大きな責任がある。私はすでに高齢にあり、学会をお引き受けするには荷が重すぎると思っていたが、巷野会長から会頭になるようにご要請があったときに、即座にお受けする返事をしたのも、こうした学会によって保育が充実するものと洞察したからである。また、参会のお申込みを頂いた方々が、われわれの予想を遥かに越えたものであったのも、保育園に関係する方々の保健に対する関心が高いことを示していて、嬉しいかぎりである。

ごあいさつ

日本保育園保健協議会 会長 巷野悟郎

日本保育園保健学会の開会にあたり、ご挨拶申し上げます。

本学会は平成7年4月に新発足した「日本保育園保健協議会」の事業の一つである学術集会であります。本学会の基盤であります日本保育園医協議会学術集会から数えれば、第8回となりますが、今回から会員の対象が保育園保育に関心のあるすべての方々に広がっているのです。新生ということになれば、第1回となります。

保育園児の低年齢化や、障害児保育・病後児保育などを考えると、対象とする子ども達の範囲が広がり、保育園保健の役割は非常に大きくなってきました。それだけに私たちは、日々新しい知識を吸収し、研鑽し、健全な保育を目指していかなければなりません。

この度は保育園児の健康のための学術集会が、平井信義会頭を中心とした多くの方々によって、このように盛大に開催されることになりました。誠に御同慶の至りであります。

参加された皆さんには、ここで得られた成果を夫々の職場で開花させて頂き、これからも益々の御健勝と御発展を祈る次第であります。

第1回日本保育園保健学会 プログラム

日時：平成7年11月11日（土）15時～18時20分

12日（日）9時30分～16時30分

会場：全国社会福祉協議会 灘尾ホール

東京都千代田区霞が関3丁目3-2 新霞が関ビル

☎03-3580-0988

交通案内：地下鉄銀座線 虎ノ門駅 徒歩3分
地下鉄千代田線 日比谷線 霞が関駅 徒歩5分
地下鉄丸の内線 霞が関駅 徒歩7分

会費：参加費（当日会費）4,500円

交流会：11月11日（土）18時30分～
東海大学校友会館・望星の間（霞が関ビル33階）
会費6,000円

会頭：平井信義（大妻女子大学名誉教授）

事務局 帆足英一（東京都立母子保健院）

主催 日本保育園保健協議会

第1日 11日(土) 日程

— 開場 —	14:00
学会開会の挨拶 第1回日本保育園保健学会 会頭 平井信義	15:00～
特別講演 座長 平井信義 (大妻女子大学 名誉教授) 『心を育てる保育とは?』—かかわり行動の問題の分析から— 岡 宏子 (聖心女子大学 教授)	15:05～
教育講演 1 座長 天野 嘩 (天野小児科医院) 『子どもと眠り』 横井茂夫 (東京都立母子保健院 小児科医長) 質疑応答	16:00～
教育講演 2 座長 大木師磋生 (大木小児科医院) 『子どもと体温』 南部春生 (札幌天使病院 小児科部長) 質疑応答	16:40～
日本保育園保健協議会総会	17:20～
— 初日終了 —	18:20
— 交流会 —	18:30～

第2日 12日(日) 日程

	— 開場 —	9:00
会頭講演		9:30～
	座長 巷野悟郎 (日本保育園保健協議会 会長)	
『保育・保健の過去と未来』	平井信義 (大妻女子大学 名誉教授)	
一般演題 I		10:30～
	座長 千羽喜代子 (大妻女子大学 教授)	
1. アメリカにおける保育園問題—カーネギー委員会報告書より	栗山昭子 (芦屋女子短期大学 教授)	
2. 保育所での健康管理 (教育) —乳幼児保健会活動から—	摂津浩二 (摂津小児科医院)	
3. 幼児期における成人病予防に関する研究 (第1報)		
健康と食生活の実態と成人病予防の関心度	林 辰美 (中村学園大学 教授)	
一般演題 II		11:21～
	座長 松本寿通 (松本小児科医院)	
4. 広島県下の保育園、幼稚園児の医療受診状況調査		
—母親のアンケートより	籠崎祐次 (かごさき小児科医院)	
5. 一平成5年度秋田県保育所児童健康調査より—		
	綿貫桃代 (わたぬき小児科医院)	
	— 昼食 —	11:55～

一般演題 Ⅲ

13:00～

座長 菅原重道（菅原小児科医院）

6. 乳幼児健康支援ディサービス事業実施にあたっての
基礎的調査報告

野矢淳子（川崎市医師会保育園医部会）

7. 岐阜市における病児保育に対する意識調査

田中 浩（岐阜市保育園保健協議会）

8. 病児保育の看護と保育

富永友子（枚方病児保育室）

— 休憩 —

13:51～

シンポジウム

座長 高野 陽（国立公衆衛生院）

14:00～

『保育と事故—安全対策』

1. 保育園における事故の実態

遠藤幸子（中野区立江原保育園 看護婦）

2. 幼児における安全教育

荻須隆雄（玉川大学文学部 教授）

3. 保育の立場から事故を考える

稲葉 穂（豊島区立要町保育園 園長）

4. 保育園における安全対策

帆足英一（東京都立母子保健院 小児科部長）

次回会長挨拶

奥田六郎（京都大学 名誉教授）

16:25～

閉会の挨拶

池田 宏（日本保育園保健協議会 副会長）

16:28～